



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第488号

2021年1月18日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代市の行財政改革プランのゆくえは？

「八千代市行財政改革推進のビジョン」について、市当局から説明がありました。平成23年3月に「八千代市第2次行財政改革大綱」を策定したが、今回の「ビジョン」は名前を変えただけのもので、21年度からの第5次総合計画を推進する梃子（てこ）の役割を担うものです。

八千代市の行財政改革の提案は、多様化する市民のニーズや社会経済の状況の変化に対応できず、その理由について分析・究明がされていません。しかし、「改革」と称するビジョンだけが次々と示されるのです。

市民の願いや声を生かした施策かが問われている

今回提示された第1期アクションプラン素案（令和3年度～6年度）重点取組事業として4つの柱が掲げられています。4つの柱は①安心、安全の取組の確保。②不要不急となっている事業を掘り起こし、休止・廃止を決定。③二重的に実施してきた事業を掘り起こし、統合等を推進。④民間活力導入により、今後の職員数の減について検討などです。その取り組みで、財産の売却・有効活用も含めて7億1909万円の財政効果を見込んでいます。

具体的事例として、「少年自然の家」の廃止が検討されています。また学校の適正配置として「児童生徒数を的確に把握し、より良い教育環境の実現、地域コミュニティの拠点としての役割について検討し、地域別に学校の適正配置を図ります」という理由で阿蘇・米本地域の統廃合が進められています。この事実からして、アクションプランは市民・住民無視のビジョンであることが明らかです。市民と一緒に作り上げていく謙虚さと手法が求められています。



民主主義の基本は市民に対する説明責任をつらぬくこと

今、市民のパブリックコメントに付されているのは4つで①一般廃棄物処理計画について、②生涯学習推進計画について、③行財政改革推進ビジョンについて、④図書館サービス計画についてあります。

どれも市民の暮らしに大切な内容なのに、全部の文書を読む機会も時間も市民にはありません。行政はどうしたら説明責任を果たせるのかを考えることが基本です。

時間がないというのは理由になりません。コロナ禍のなか、ZOOM会議など工夫しながら、周知徹底するためには、市民参加の機会を増やし、意見を交換する以外に方法はありません。

日本共産党は、市民が熟知できる時間と場所の提供こそ必要と考えます。一人も置き去りにしない徹底した民主的な八千代市政づくりのために頑張ります。